

もしもの事態に備えて 親子防災教室を開催(豊田小)

8月24日、豊田小学校で全学年を対象に、親子防災教室が開催されました。これは、災害時の行動を家族で話し合うきっかけにしておこうと、このたび初めて開催されたものです。

地区ごとに別教室に分かれ、町で洪水が起きた場合の避難地図(洪水ハザードマップ)を参考にしながら、それぞれの地区で想定される被害について重点的に学んだほか、災害が発生した場合にどこの避難所に向かうか、どんなものを持ち出すかなどを親子で真剣に話し合いました。その後、児童を保護者へ引き渡す訓練があり、保護者からは「こういった経験をしておくと、



災害発生時の対応について真剣に話し合いました

もしもの時に慌てなくてすむ」「学校側で児童一人一人の安全を確認して確実に引き渡してくれていたのだから、安心できる」という声が聞かれました。

また、9月21日には地震および火災を想定した避難訓練が行われました。豊田小学校では今年、地区教育後援会より、全児童分の防災頭巾を準備してもらっており、これをかぶって避難した後、消防団の協力のもと、放水や水消火器を使った消火などを体験しました。放水を体験した小野愛琉くん(豊田小5年生)は、「ホース自体が重く、水が出始めるともっと扱いにくかった。思いどおりの場所に放水するのは難しいということがわかった」と話してくれました。



洪水ハザードマップはこちらからご覧ください

私たち地域おこし協力隊です！ No.7

こんにちは。すっかり秋めいた季節になりましたね。旧柏倉家住宅では、金木犀・銀木犀が咲き、邸内を歩いているとふんわりと香りがします。

さて、前回9月号でチラリと記載しましたが、9月29日に開かれた元祖芋煮会in中山でワークショップを行いました。竹コップに焼印を押すワークショップと、紅花を使ったキャンドル作りの2種類を実施しました。

竹コップは、旧柏倉惣右衛門家の敷地で取れた竹に、惣右衛門家の土間から見つかった焼ゴテを使いました。惣右衛門家づくしです。このコテは実際に使っていたもので、惣右衛門家の屋号「マルジョウ(丸に上)」が彫られています。昔はなんでも道具に焼印を押したそうですが、今は触ったこともない方がほとんどですので、皆さん苦戦しながら押していました。かく言う私も下手くそで、参加いただいた方、見本にならず、すみませんでした…。

キャンドルは、紅花保存会の方が育てた紅花と九左衛門家の庭で採取した植物を使いました。花は時間が経つと色が退色してしましますが、今回は透明なキャンドルワックスで封じ込めたので、太陽光に当たらない限りは紅花の鮮やかな色合いを楽しんでいただけたと思います。旧九左衛門家にも大正時代の押し花などが現存していますが、今はオイルやキャンドルワックスを使えば、咲いている姿のままに残すことができます。何より、部屋に置くと、味気ないインテリアがいつもより華やぐ(?!)ような気がします。これなら植物を枯らしてしまう人でも(私でも)楽しめます。

現在、旧柏倉家住宅は資料整理中のためご覧いただけませんが、このような形で少しずつ親しんでいただければと思っています。



来てくれてありがとうございます



オクトーバーフェストにも参加しました